

事業名	種豚改良		
予算区分	県単 (17,338千円)	担当	改良技術研究室 養豚研究グループ
事業期間	継続 (平成元年度～)	協力関係	
事業目的	優良な繁殖用種豚を選定し、パークシャー種の種子豚及びパークシャー種・デュロック種の精液を生産・供給する。これにより岡山県産豚及び「おかやま黒豚」(パークシャー種)の生産を推進して、岡山県の養豚振興を図る。		
<p>○ 本年度事業のねらい</p> <p>事業1 岡山県産豚の生産振興  &lt;事業内容&gt;  (1) 種子豚譲渡及び精液譲渡  ア 種子豚譲渡は、パークシャー種子豚を生産し、背脂肪厚やロース芯面積の測定等により選抜した優良豚を県内生産者向けに安定的に供給する。  譲渡計画頭数 雄 5頭 雌 55頭</p> <p>イ 精液譲渡(パークシャー種・デュロック種)は、原則として毎週2回(月曜と金曜)翌日、農場に届くように精液を採取し、モデナ液で希釈して宅配便で送付する。  譲渡計画本数 1,900本</p> <p>事業2 パークシャー種の種豚能力向上  &lt;事業内容&gt;  (1) 繁殖能力の向上  場内種豚の総産子数・生存産子数・離乳頭数・離乳時総体重を一般社団法人日本養豚協会に報告し、遺伝的能力評価を受け、成績上位の母豚から生まれた後継豚を保留する。併せて、農家に供給した種子豚の総産子数、生存産子数、離乳頭数を調査し、黒豚の繁殖能力の検証を行う。</p> <p>(2) 産肉能力の向上  種子豚の背脂肪厚及びロース芯面積の測定等により、高能力な優良豚を選抜し場内保留する。</p> <p>(3) 外部導入  飼養豚の能力向上のため、繁殖能力や産肉能力の高い種豚を外部導入する。</p> <p>○ 前年度までの成果</p> <p>事業1 H27年度の岡山県産豚の生産振興</p> <p>1 種子豚譲渡頭数(H28.3.15現在)  パークシャー種 雄 6頭 雌 82頭 合計 88頭</p> <p>2 精液譲渡本数(H28.3.15現在)  パークシャー種 : 530本 デュロック種 : 1,599本 合計 : 2,129本  精液採取は、以前は、月曜と木曜日であったが、農場の要望に対応するため、7月3日(金)から採精日を金曜、月曜に変更した。</p> <p>3 繁殖豚の更新(H28.3.15現在)  繁殖豚は、次のとおり19頭更新した。  パークシャー種 : 雄5頭、雌12頭(うち県外導入雄1頭)  デュロック種 : 雄2頭(県外導入)</p> <p>事業2 パークシャー種の種豚能力評価</p> <p>1 繁殖能力  平成22～27年度の場合内母豚の繁殖能力の推移を集計した結果、場内母豚の能力は、総産子数、生産頭数、離乳頭数とも平成25年4月まで上昇したが、それ以降下降気味である</p> <p>2 産肉能力  選抜した種子豚の背脂肪厚、ロース診断面積を平成22～27年まで測定した結果、背脂肪厚は、やや上昇傾向にあった。</p>			

# 種豚改良

—「おかやま黒豚」の生産振興—

